

レファレンス

コーナー

開発経済学の文献

荻野洋司

本誌二〇〇〇年六月号のコーナーで、真田孝之が「開発経済学の入門書」として、計一四冊の文献を紹介している。それから一年半が過ぎ、今月号の特集テーマは「現代開発経済論の争点」となった。そこでこの間に刊行されたもの、また前回取り上げられなかった図書を、初級から中級レベルの範囲で紹介する。

最初は、平易で入門書として格好と前回紹介された原洋之介著の『開発経済論』。この『第二版』が刊行されている（岩波書店 二〇〇二年三月）。章の構成や題には変化はないが、巻末のリーディングリストも含め全体に改訂がなされており、新たに「グローバル化と開発経済論」の一章が追加されている。

著者は、「ワシントン・コンセン

サス（グローバルな市場経済化がすべての国をより良い状態にする）」から脱却し、多様な経済制度の共存に向かうべき、と説いている。なお、この意味で特にアジア諸国の経済の多様性を知るテキストとしては、同書の姉妹編に当たる同著『現代アジア経済論』（岩波書店 二〇〇一年三月、請求番号 AA33/G4）以下の文献も同じ）が良い。

次も最新のテキストで、渡辺利夫著『開発経済学入門』（東洋経済新報社 二〇〇一年五月）。大学一年生向けに講義する、という構成をとる。書名から一般的な入門書と思われるが、著者の専門であるアジアの経済発展に関する内容で、この五年を振り返り、各国の発展経路の論理を解説していく。また、付録のアジア開発指標は統計データ集で、簡潔なうえ充実しており有用である。

著者の最近刊『成長のアジア 停滞のアジア』（講談社学術文庫 二〇〇二年二月）は、東洋経済新報社が一九八五年に刊行した図書の再版。G・ミューダール著の『アジアのドラマ』に失望した著者が「私のアイシアン・ドラマ」として新しいアジア経済論のシナリオを創り出そうと試みたもので、吉野作造賞を受賞した。今回の文庫版では補章「東アジア経済の新動態」を加えているだけで内容の改訂はしていない。しかし現在でも、アジアの経済を概観するうえで読み易い必読文献のひとつである。

次の文献は、速水佑次郎著『新版開発経済学——諸国民の貧困と富』（創文社現代経済学選書 二〇〇〇年八月、C33892/K5）。前回紹介した図書の五年後の改訂版。付論「技術進歩に関する理論的補足」の他に若干の新項目が追加され、説明の改良や参考文献の拡充もなされているが、章立てや内容に根本的变化はない。フィリピン・稲作農村での四半世紀にわたるフィールドワークの観察結果を踏まえ理論的検討を加えた主張も同じ。途上国が貧困と停滞から脱出するには、先進国からの技術導入のみならず、受け入れる側の制度改革が不可欠、という。

さて、中級レベルの文献としては、高木保興著『開発経済学』（有斐閣 一九九二年五月、Jg33897/D0）と同じ著者の『開発経済学の新展開』（有斐閣 二〇〇二年五月）。前者は、開発途上国の目標は自立的な成長経済の達成であり、そのためには工業化は不可欠である、との視点に立ち書かれており、ここでは開発経済論に登場する代表的開発モデルが平易に解説されている。

しかし、一〇年後の出版の後者は単なる改訂版ではない。開発経済学において基本的なことは何か、を改めて考え直した結果生まれたもので、章構成は一変し、前者の内容はほとんど残っていない（それ故、書名が変更された）。この半世紀、経済発展を目指した途上国が経験してきた主要問題とは何か、それはなぜ発生

したのか、同じ過ちを繰り返さないようにするにはどうしたらよいか、の疑問に答えることを本書は主要目的とする。結論として、途上国は世界の政治・経済状況に左右されることなく、安定した経済・社会制度を維持しながらいわゆる公正な社会制度の構築に努力しつつ、資本蓄積を推進する以外の方法はない、とする。以上はアジアに関連する文献であるが、アフリカに関しては、峯陽一著『現代アフリカと開発経済学——市場経済の荒波の中で』（日本評論社 一九九九年二月、E33892/G4）がある。雑誌『経済セミナー』の連載「アフリカ経済論序説」（一九九七年六月から一九九八年二月）を加筆修正したもの。初めに、アフリカは本当に歴史のない「暗黒大陸」だったのか、との問いに答える形で初学者向けに歴史を概観した後、アフリカの貧困に取り組もうとした三人の開発経済学者の理論を中心に、農業、構造調整、紛争、開発、民主化など、多様なテーマを多角的に論じている。

最後に紹介するのは、菊池京子編『開発学を学ぶ人のために』（世界思想社 二〇〇一年九月、G33892/K5）。この資料編には、当研究所開発スクールを含め開発学関連の内外の大学と大学院の八五教育機関に関するリストがあり、コースや住所、インターネットのホームページのアドレスがわかる。

（おさの ようじ／図書館参事）